

(2) 見直し評価指標による“区間別”評価

前項に示した手順により、見直し評価指標による“区間別”評価結果を行い、結果を下图に示した。

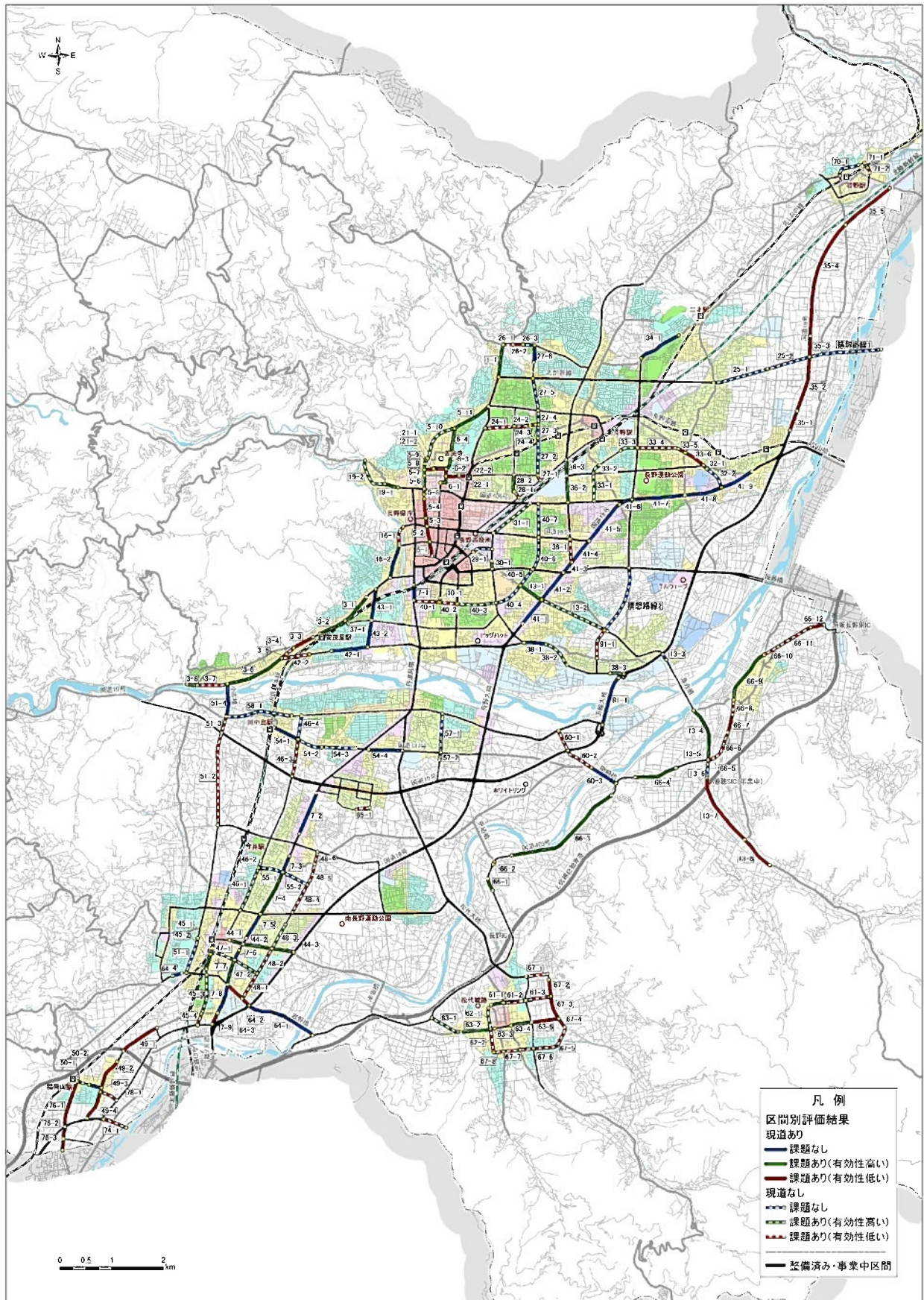


図 3-24 見直し評価指標による“区間別”評価結果

(3) “道路網”としての総合的な検証

「見直し評価指標による“区間別”評価結果」をベースに、以下に示す①から⑥の評価指標による“道路網”としての総合的な検証を行い、各区間を「存続候補」「変更候補」「継続検討候補」「廃止候補」のいずれかに分類した。

「①上位・関連計画との整合」から順に評価を行い、指標に該当した区間から評価を確定していく。なお、各評価指標の評価内容に加えて、前後区間の“区間別”評価結果も参照しつつ、各評価の段階においても事業の連続性や路線としての機能を考慮しながら評価を実施した。

表 3-10 “道路網”としての総合的な検証項目

評価指標	内容
①上位・関連計画との整合	下記の計画に位置づけられた路線については、区間別評価の状況に応じて、「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。 ・長野都市計画区域マスタープラン（令和3年改定予定） ・長野市都市計画マスタープラン（平成29年4月） ・広域道路ネットワーク計画
②コンパクト＋ネットワーク	道路機能分類において「都市内拠点間を連絡する道路」に分類された道路は、区間別評価の状況に応じて、「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。
③既存ストックの活用	「代替性あり」と評価された区間について、「有効性が低い」場合、基本的には「廃止候補」とする。ただし、廃止により連続性に支障が生じる場合等は、個別に判断を行う。 「有効性が高い」または幹線道路に分類される場合は、当該区間や前後区間の状況に応じて「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。
④実現課題の検証	「実現性に課題あり」と評価された区間について、「有効性が低い」場合、基本的には「廃止候補」とする。ただし、廃止により連続性に支障が生じる場合等は、個別に判断を行う。 「有効性が高い」または幹線道路に分類される場合は、当該区間や前後区間の状況に応じて「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。
⑤事業の連続性・路線としての機能	前後区間の評価状況に応じて、事業の連続性や路線としての機能に問題が生じる場合に、前後区間の評価結果に応じて評価を決定する。 ※連続性に問題がなく、代替性・実現性に該当が無い区間は存続候補とする。
⑥交通需給バランス	ここまでの検証結果を反映した暫定見直し案において「廃止候補」と位置づけられた区間を廃止した場合の交通需給バランスにあたる影響を、見直し道路網案における将来交通量推計と現計画における混雑度合い及び混雑区間延長の比較により混雑状況の改善効果が維持されるかなどを検証する。 検証結果に応じて、見直し評価指標による“区間別”評価において「継続検討候補」「廃止候補」と分類された区間を、分類された理由に応じて、「存続候補」または「変更候補」に変更する。

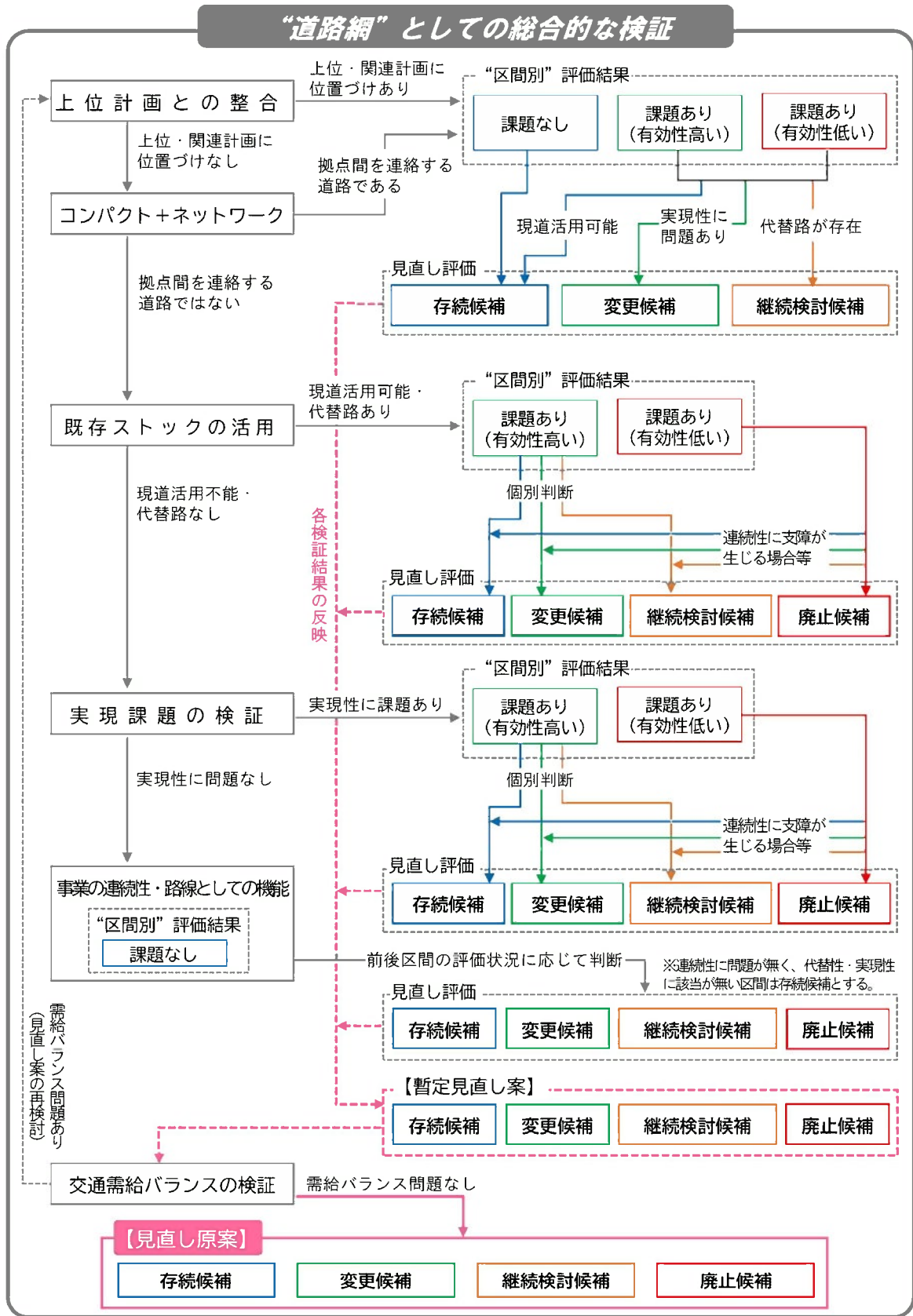


図 3-25 “道路網”としての総合的な検証手順

① 上位計画との整合

【検証】

下記の計画に位置づけられた路線については、区間別評価の状況に応じて、「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。

- ・長野都市計画区域マスタープラン（令和3年改定予定）
- ・長野市都市計画マスタープラン（平成29年4月）
- ・広域道路ネットワーク計画

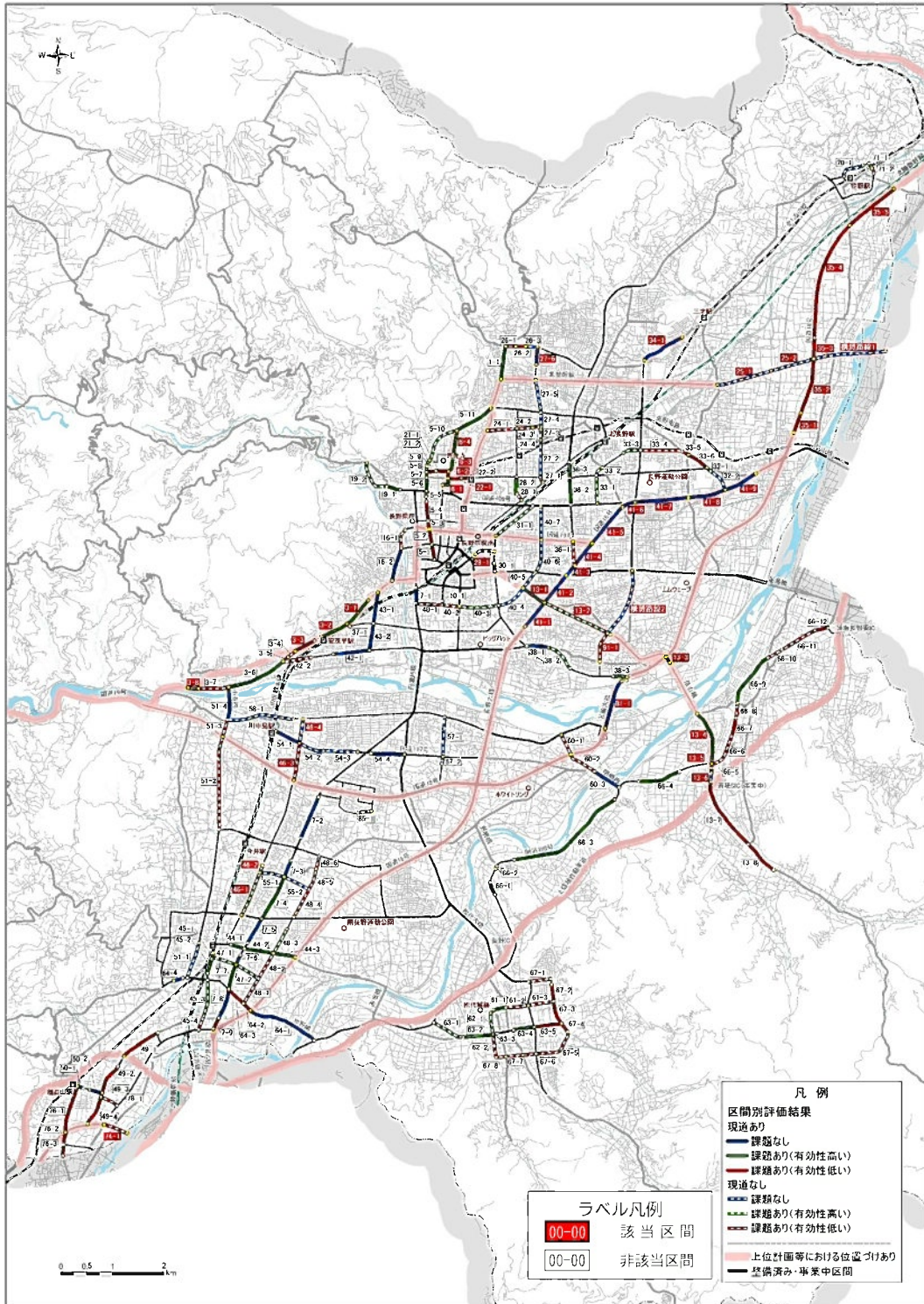


図 3-26 上位・関連計画との整合 検証図

【検証結果】

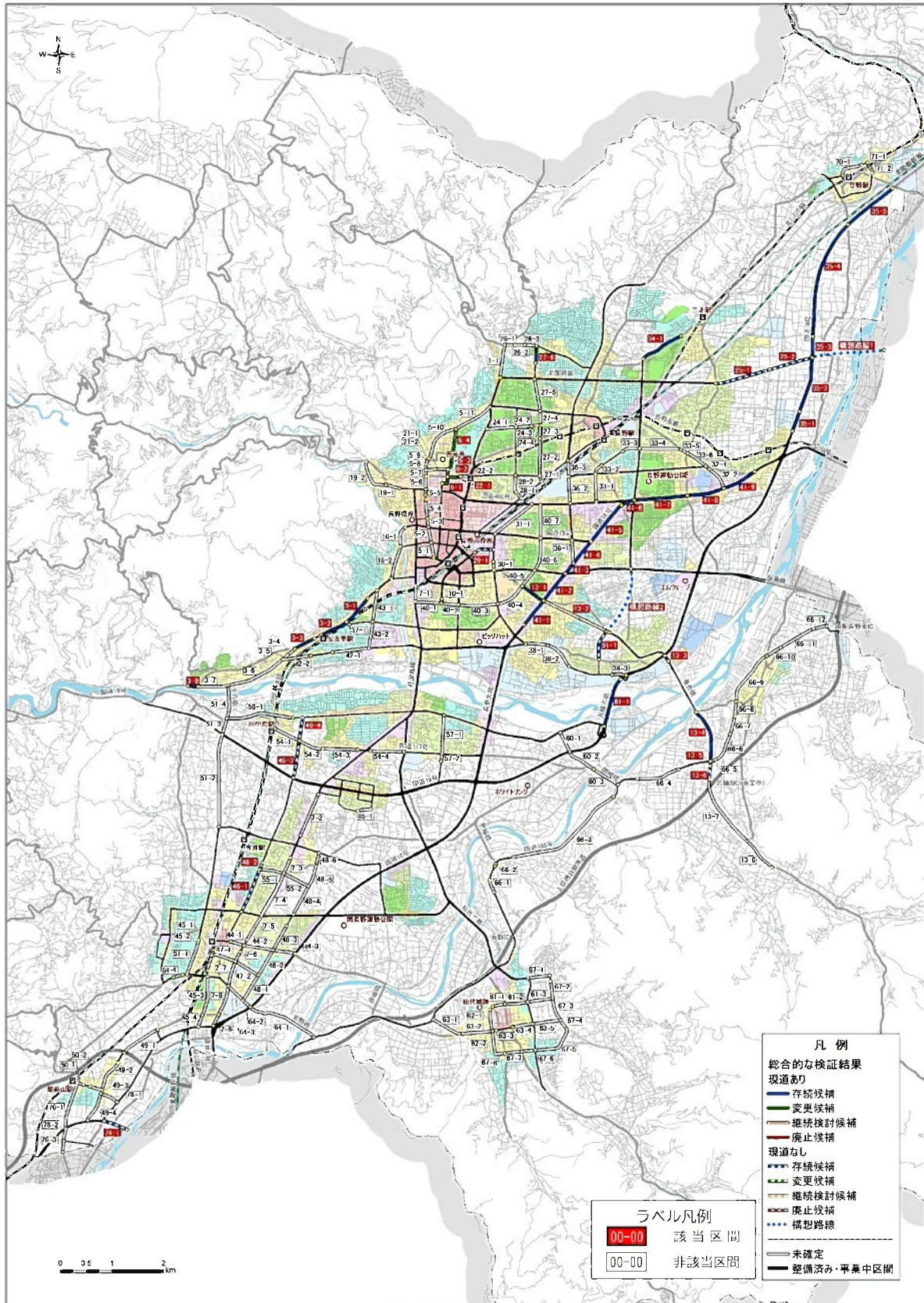


図 3-27 上位・関連計画との整合 検証結果

② コンパクト・プラス・ネットワーク

【検証】

道路機能分類において「都市内拠点間を連絡する道路」に分類された道路は、区間別評価の状況に応じて、「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。

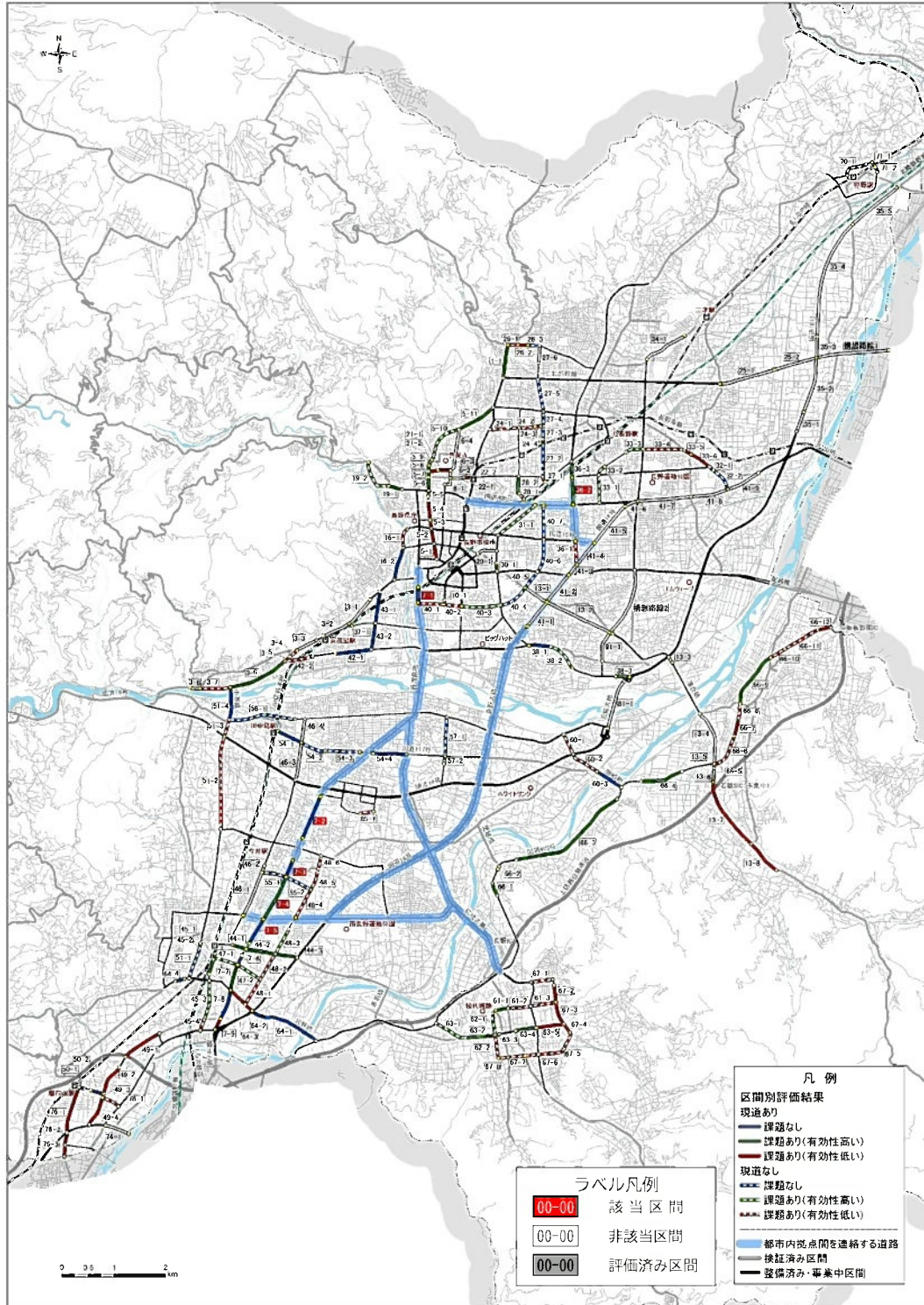


図 3-28 コンパクト・プラス・ネットワーク 検証図

【検証結果】

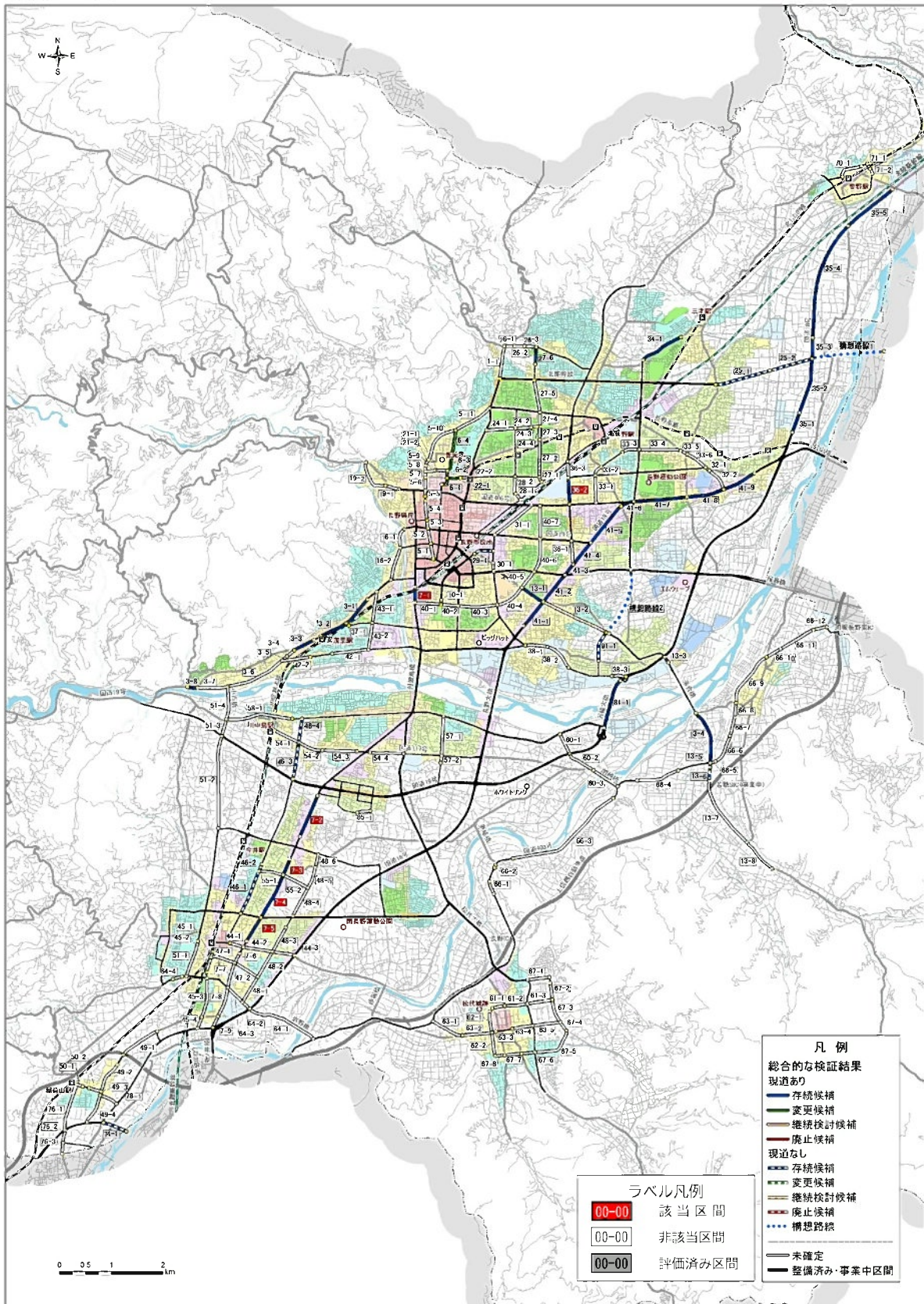


図 3-29 コンパクト・プラス・ネットワーク 検証結果

③ 既存ストックの活用

【検証】

「代替性あり」と評価された区間について、「有効性が低い」場合、基本的には「廃止候補」とする。ただし、廃止により連続性に支障が生じる場合等は、個別に判断を行う。

「有効性が高い」または幹線道路に分類される場合は、当該区間や前後区間の状況に応じて「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。

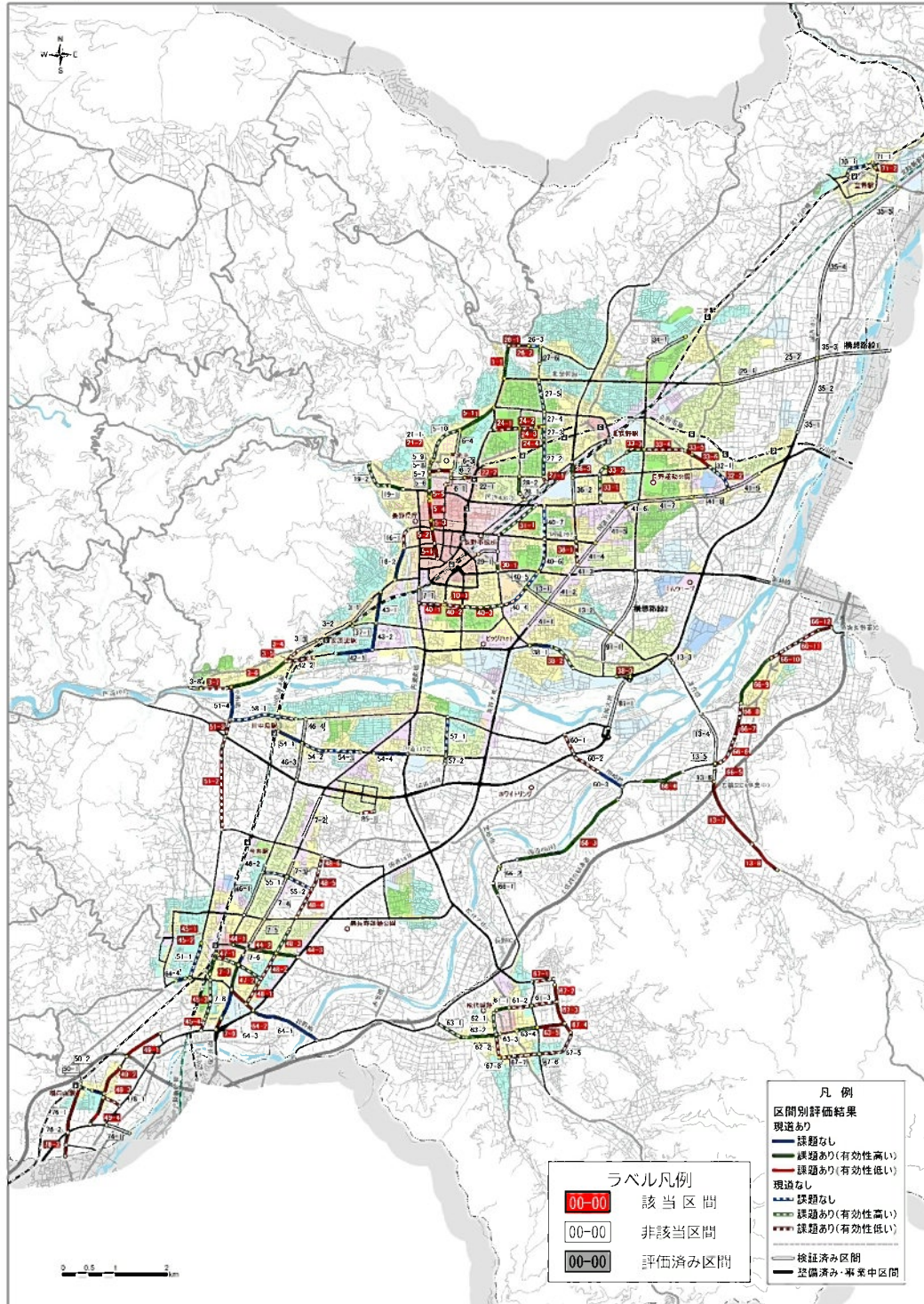


図 3-30 既存ストックの活用 検証図

【検証結果】

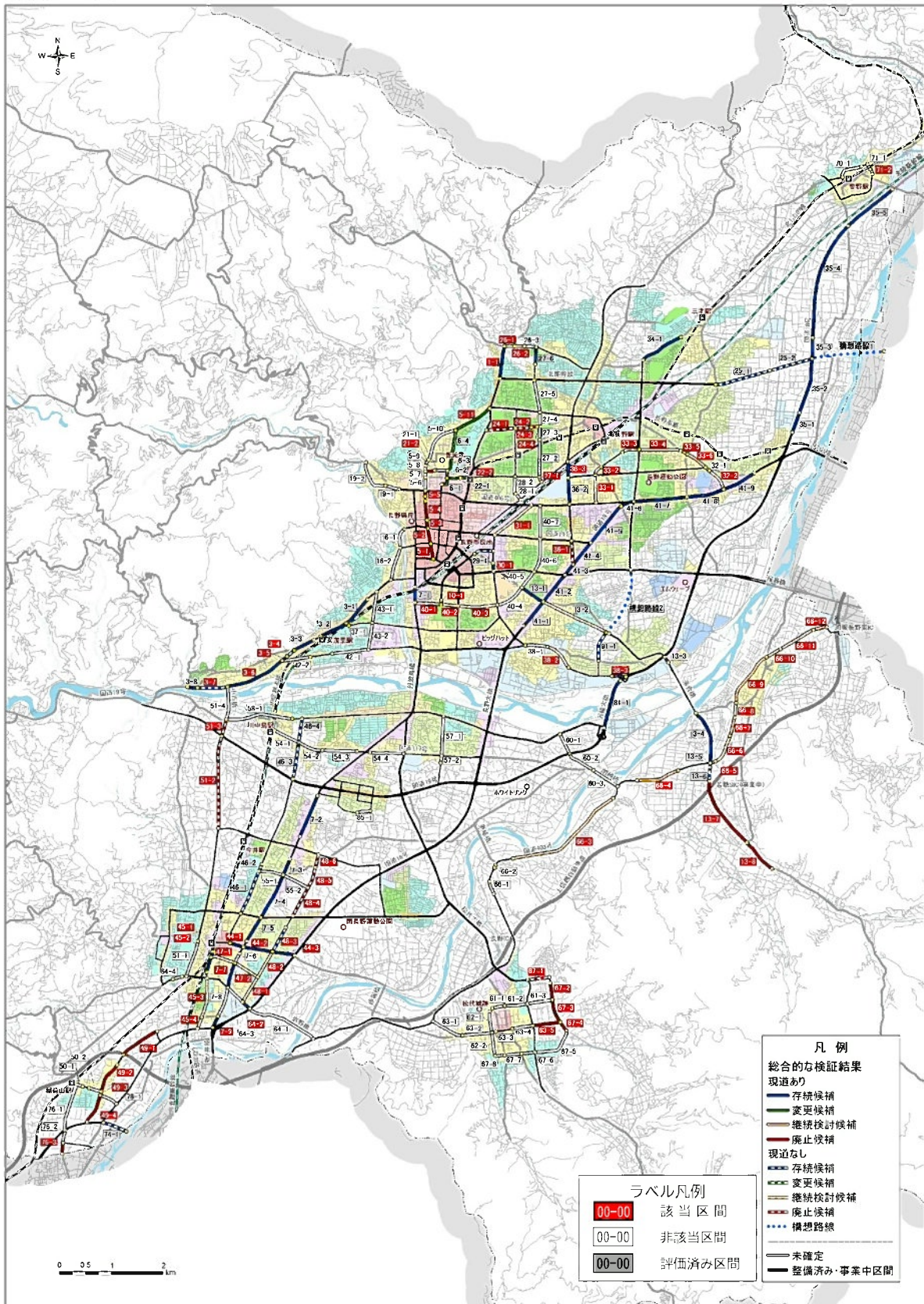


図 3-31 既存ストックの活用 検証結果

④ 実現課題の検証

【検証】

「実現性に課題あり」と評価された区間について、「有効性が低い」場合、基本的には「廃止候補」とする。ただし、廃止により連続性に支障が生じる場合等は、個別に判断を行う。

「有効性が高い」または幹線道路に分類される場合は、当該区間や前後区間の状況に応じて「存続候補」、「変更候補」、「継続検討候補」のいずれかに評価する。

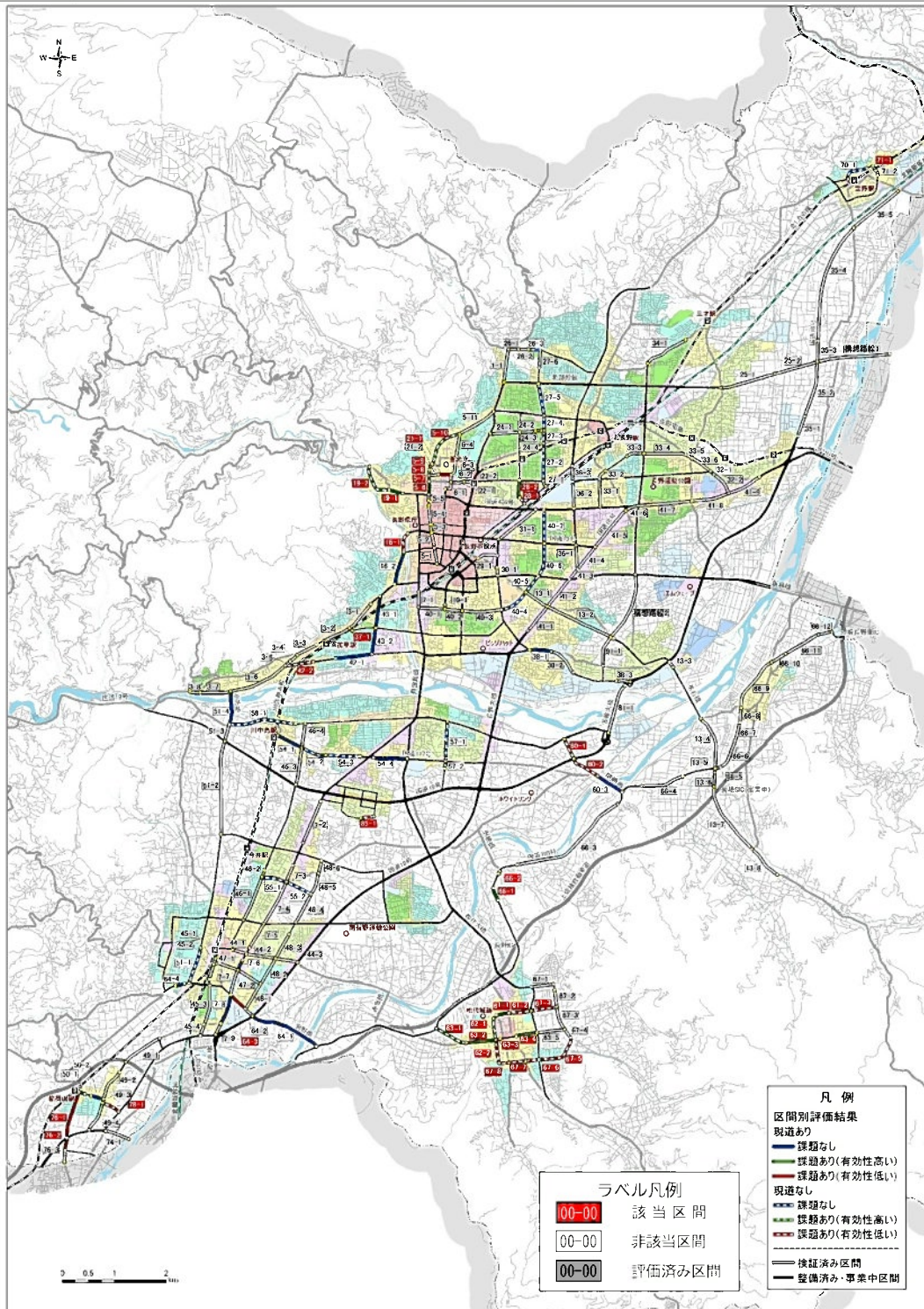


図 3-32 実現課題の検証 検証図

【検証結果】

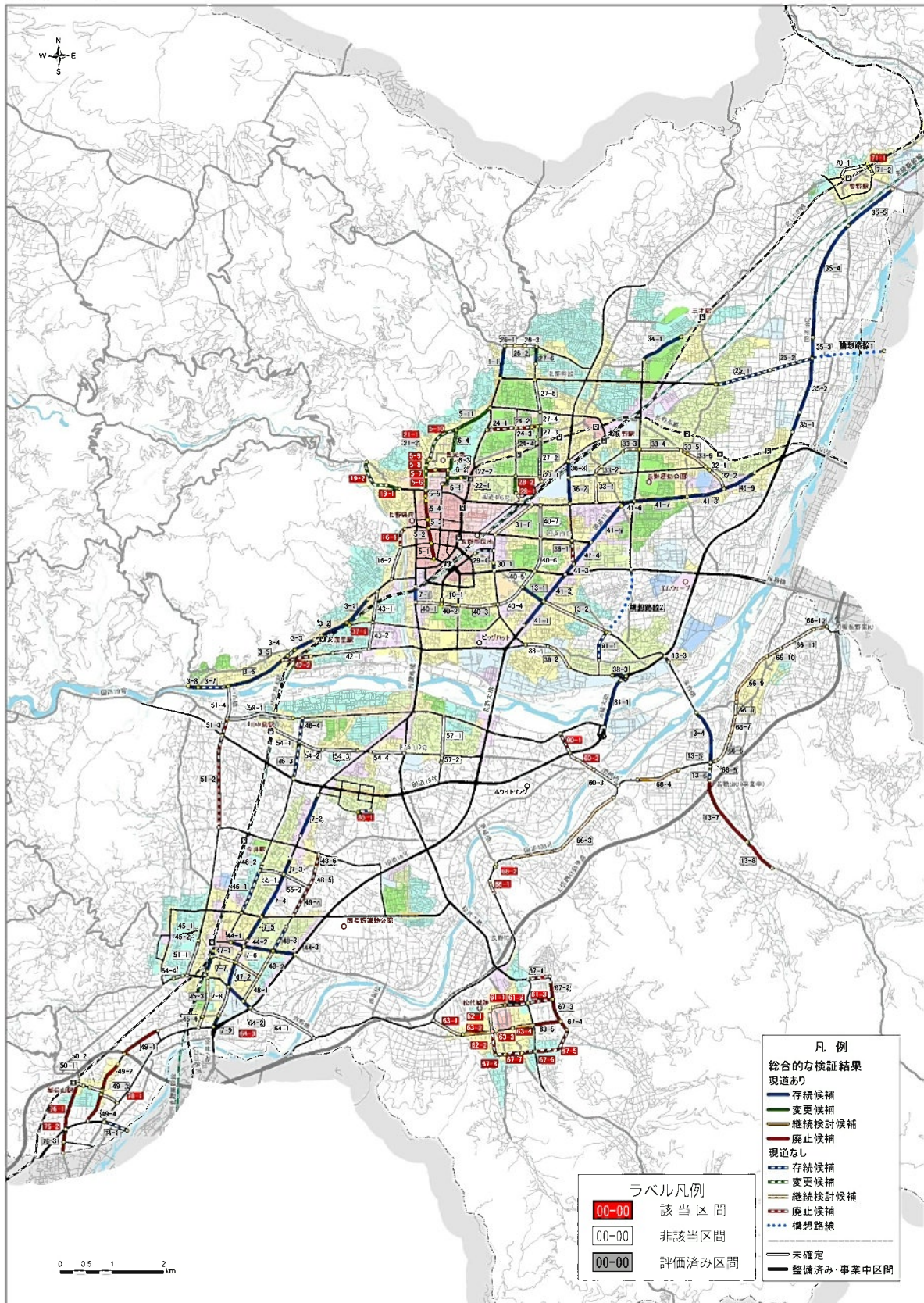


図 3-33 実現課題の検証 検証結果

⑤ 事業の連続性・路線としての機能

【検証】

前後区間の評価状況に応じて、事業の連続性や路線としての機能に問題が生じる場合に、前後区間の評価結果に応じて評価を決定する。

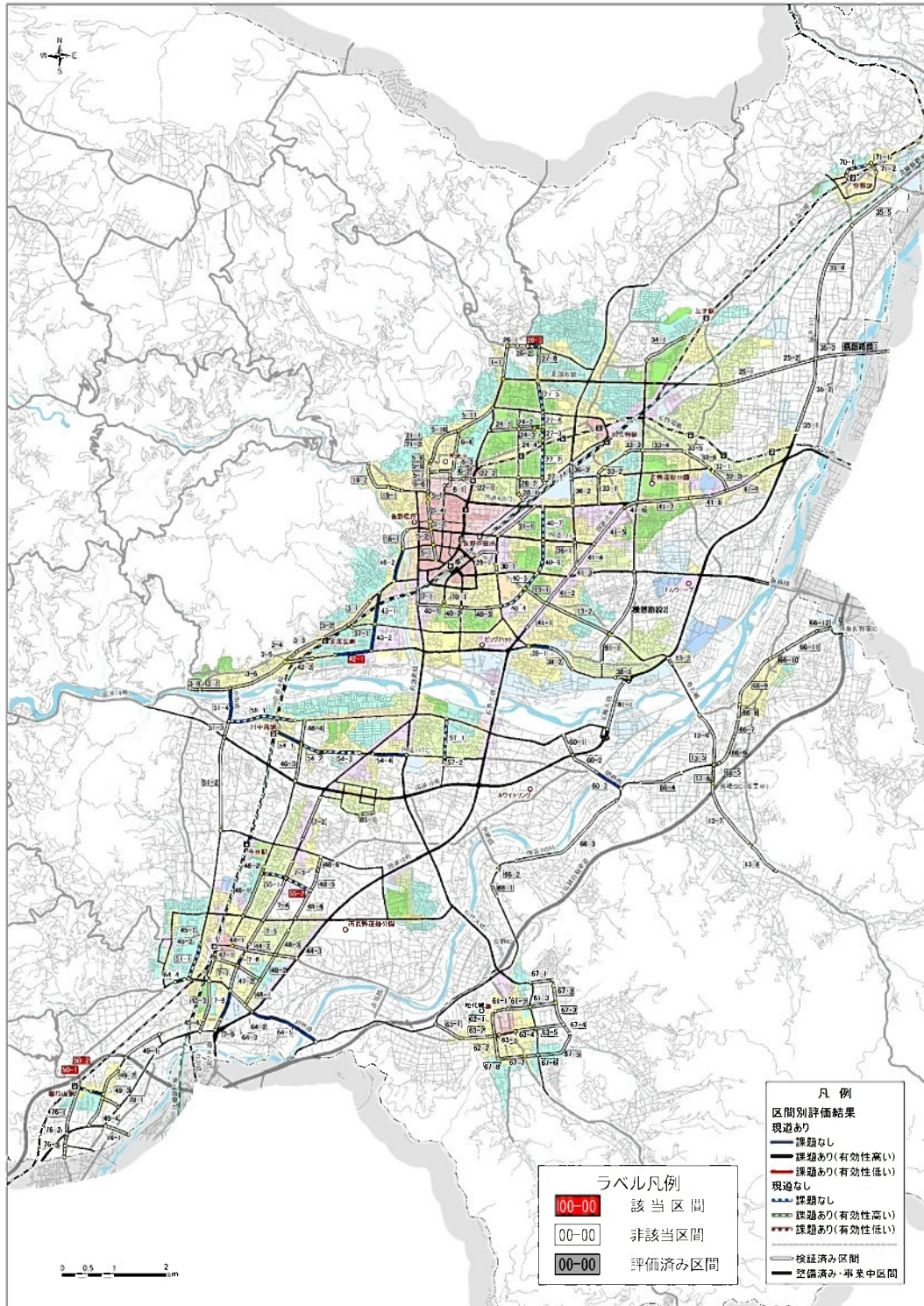


図 3-34 事業の連続性・路線としての機能 検証図

【検証結果】

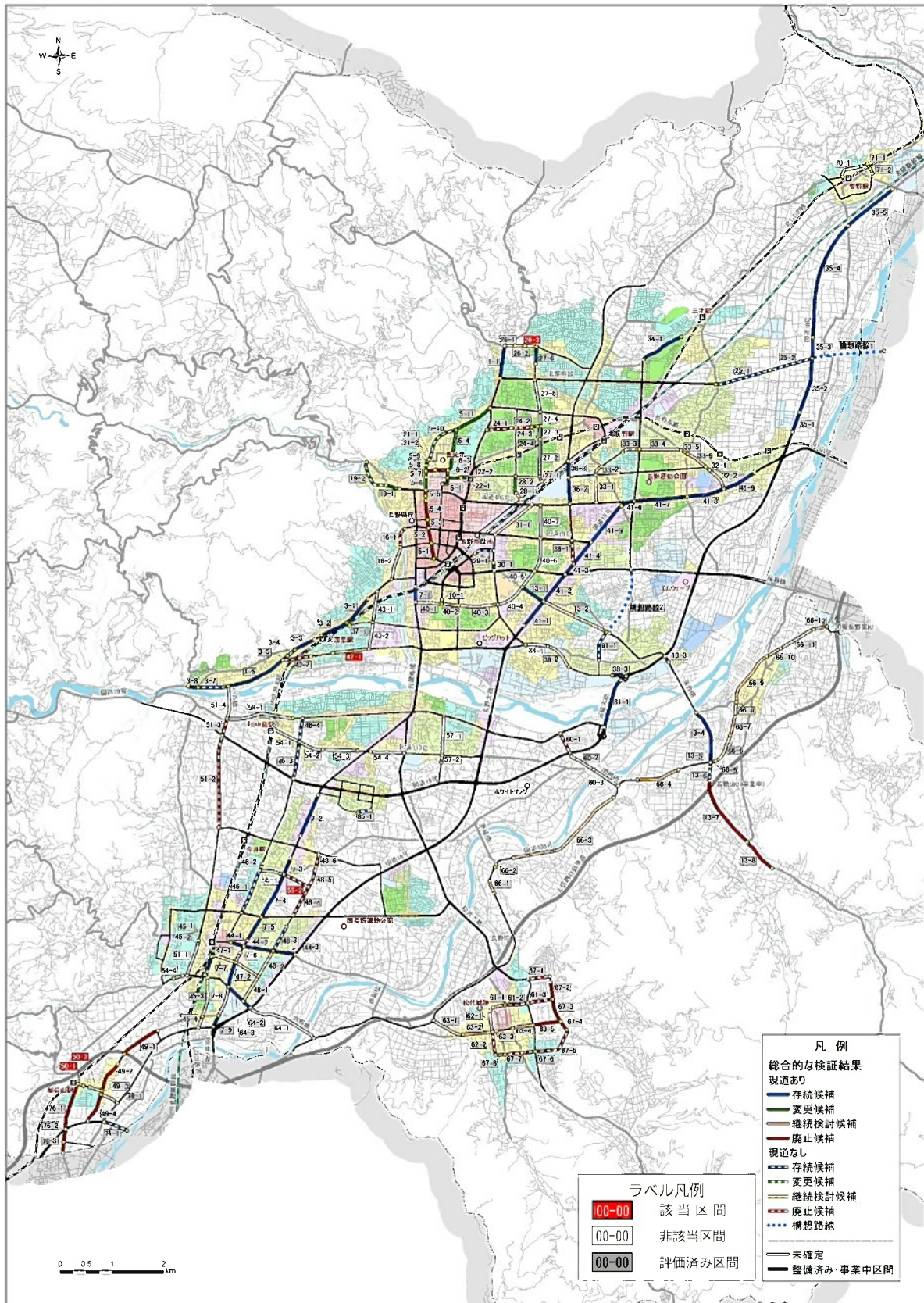


図 3-35 事業の連続性・路線としての機能 検証結果

【検証結果】 ※有効性があり、現道活用不能・代替路が無く、実現性・連続性に問題が無い区間

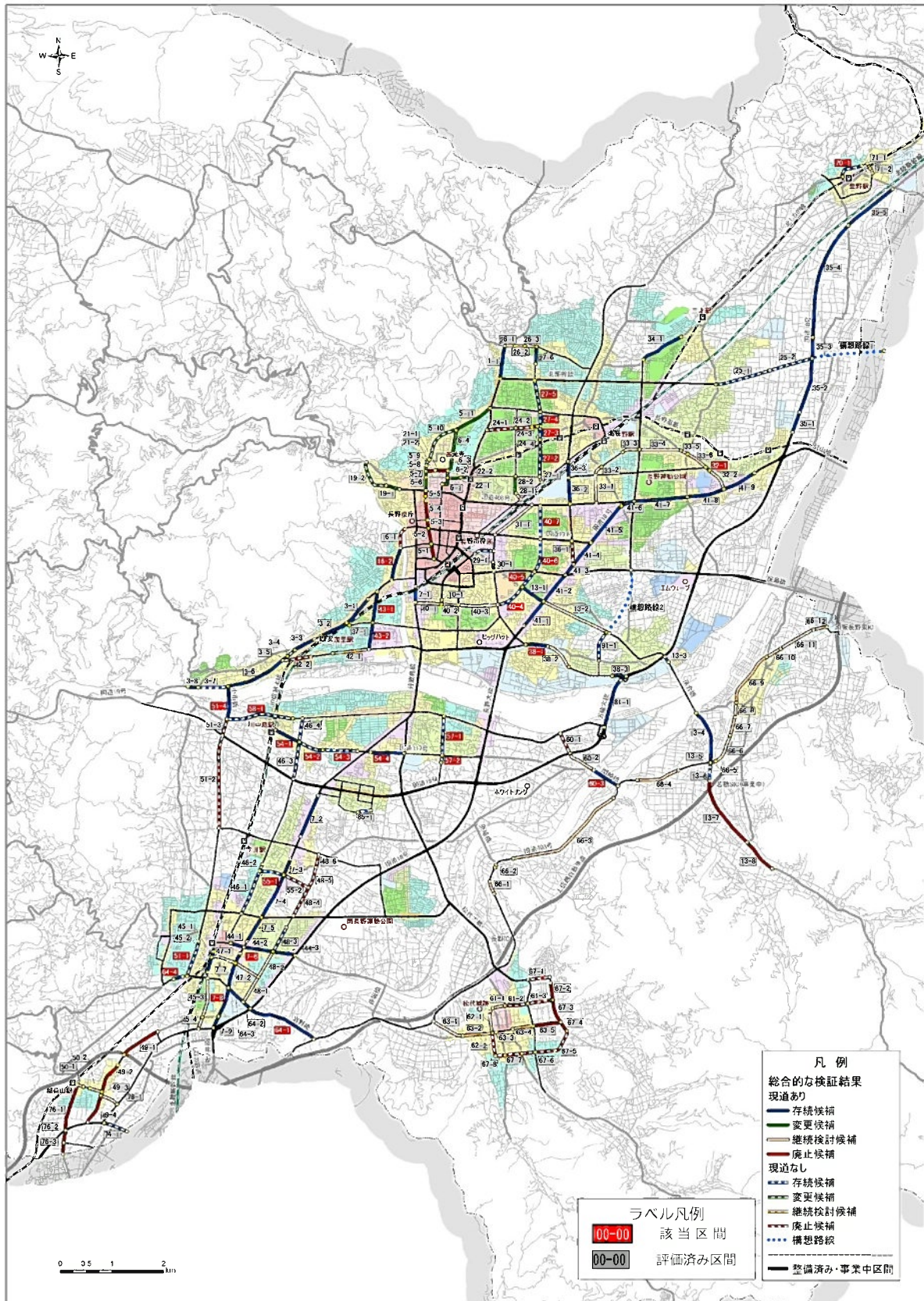


図 3-36 有効性があり、現道活用不能・代替路が無く、実現性・連続性に問題が無い区間

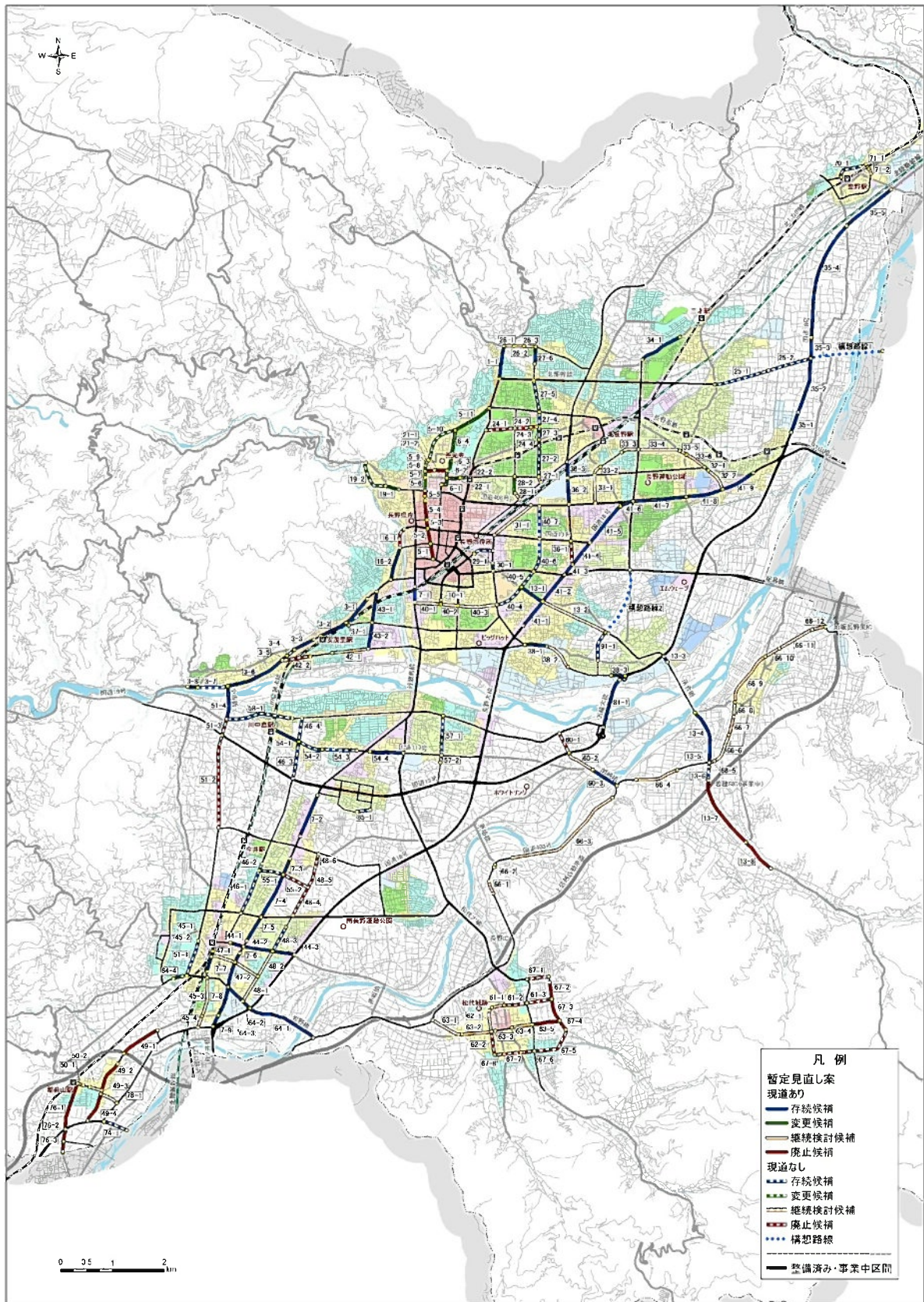


図 3-37 暫定見直し案

⑥ 交通需給バランスの検証

ここまでの検証結果を反映した暫定見直し案（前頁参照）において「廃止候補」と位置づけられた区間を廃止した場合の交通需給バランスにあたる影響を、見直し道路網案における将来交通量推計と現計画（以降、「フルネット」とする。）における状況との比較により検証した。

p. 62 以降に見直し道路網案における将来交通量推計結果等を掲載した。

現況とフルネット及び見直し道路網の混雑状況を比べ、市内の面的な混雑度合いや混雑区間延長などより、見直し道路網案においても混雑状況の改善効果が維持されるかなどを検証した。

その結果、下表に示したとおり、現況の混雑状況に比べフルネットでは混雑区間が減少し、平均混雑度¹⁾は現況の0.53から0.34となる。

この状況は見直し道路網案においても概ね維持され、混雑度区間延長は若干増加するものの、混雑区間延長の合計及び平均混雑度はフルネットと比較しほぼ同等で、暫定見直し案による交通需給バランスに与える変化・影響は極めて少ないと言える。

1) 平均混雑度：市内全体の平均的な混雑度で次式により算出。 Σ （区間距離×混雑度）÷ Σ （区間距離）

表 3-11 評価結果の見直し道路網案への反映方法

評価結果	見直し道路網案ネットワークへの反映方法
存続候補	フルネットと同様の条件で組み込む
変更候補	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行者優先化など規格を下げる変更候補 ・現道がある場合には1車線の交通容量が最も小さいQVを設定 ・現道がない場合には通行止め（歩行者専用道路として設定） ■その他の変更候補 ・車線数が増えない場合にはQV変更なし ・車線数が増える場合には同一の道路種別（沿道状況）の4車線のQVを設定
継続検討候補	フルネットと同様の条件で組み込む
廃止候補	ネットワークから除外

表 3-12 混雑状況一覧

推計年次	道路網	市内混雑区間延長(km)					平均混雑度
		混雑度 1.00～ 1.24	混雑度 1.25～ 1.49	混雑度 1.50～ 1.75	混雑度 1.75 以上	合計	
現況 (2020年)	現況道路網	91.6	36.5	15.2	15.6	158.8	0.53
将来 (2035年)	フルネット	43.8	12.0	2.7	1.2	59.7	0.34
	見直し道路網	47.1	11.4	3.0	1.9	63.3	0.35

参考：一般的な混雑度の解釈（「道路の交通容量」（社）日本道路協会より要約）

混雑度	一般的な解釈
1.0未満	昼間12時間を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる。
1.0～1.25	道路が混雑する可能性があるのは昼間12時間のうちピーク時の1～2時間程度、何時間も混雑が連続するという可能性は非常に小さい。
1.25～1.75	ピーク時間はもとより、ピーク時間を中心として混雑する時間帯が増加する可能性が高い。
1.75以上	昼間12時間を通して、慢性的な混雑状態となっている。

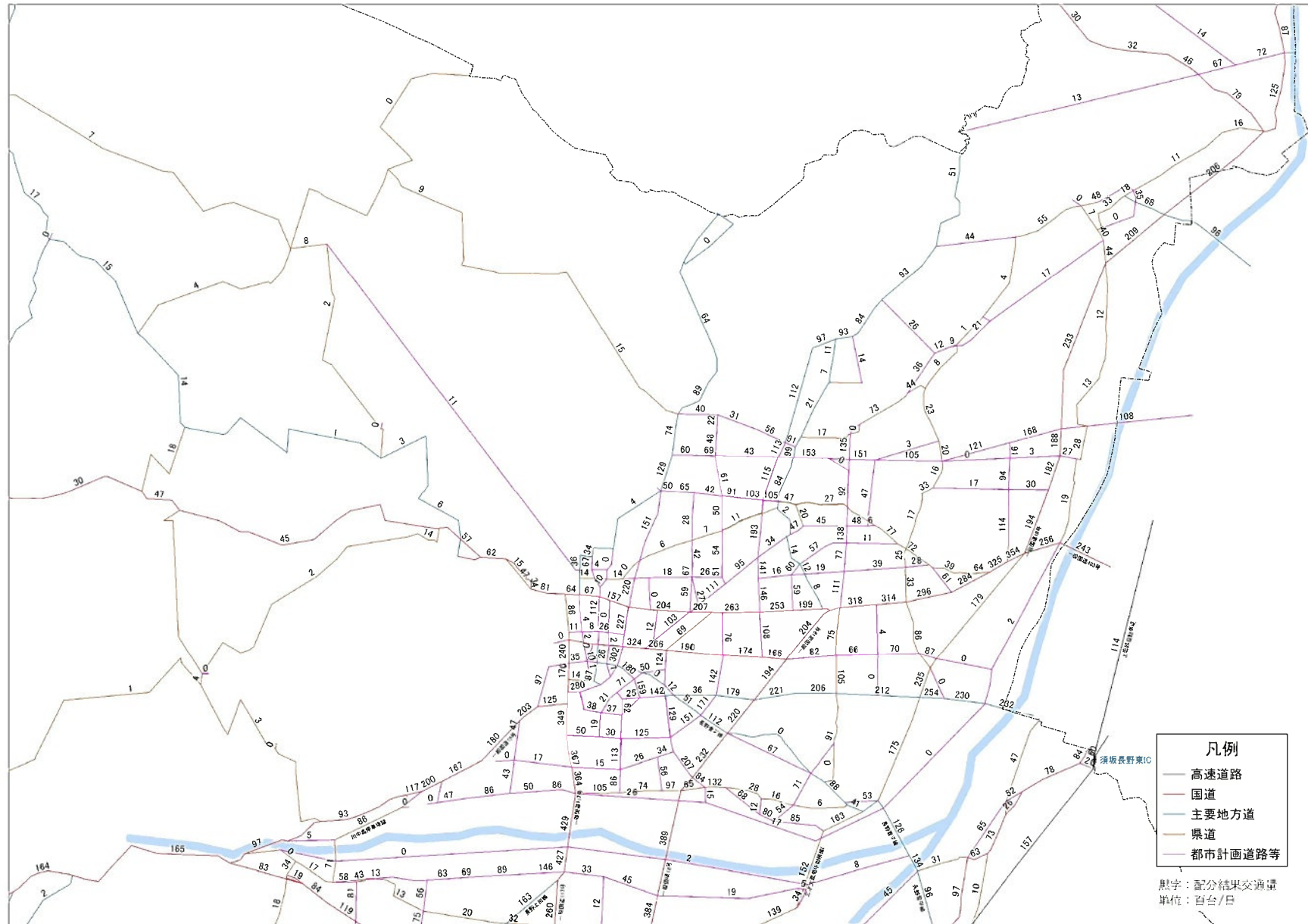


図 3-38 見直し道路網 将来配分 交通量図 北部

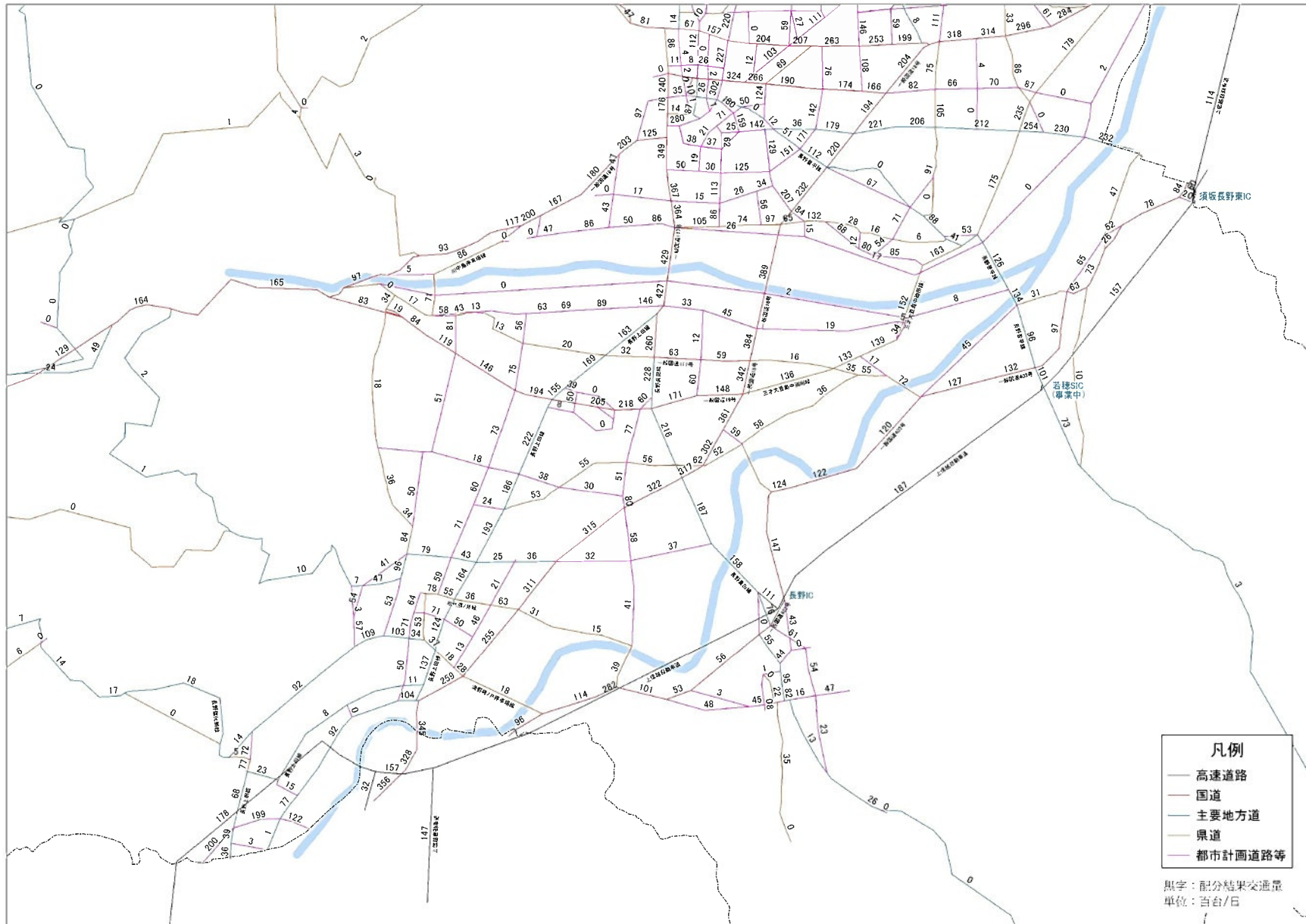


図 3-39 見直し道路網 将来配分 交通量図 南部